

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第52週)

宮城県【平成27年01月07日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2014.12.22 ~ 12.28 ・ 第52週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							仙台市				宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第49週	第50週	第51週	第52週	
水痘	9 1.80	13 1.30	9 1.80	1 0.50	4 1.33	3 0.60	38 1.46	77 1.33	2,337	○→	○→	◎→	◎		
流行性耳下腺炎	2 0.40	1 0.10		1 0.50	5 1.67	1 0.20	3 0.12	13 0.22	688	→	→	→			
百日咳										→	→	→			
感染性胃腸炎	42 8.40	66 6.60	17 3.40	21 10.50	20 6.67	23 4.60	6 3.00	208 8.00	403 6.95	18,144	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病		1 0.10		3 1.50			6 3.00	4 0.15	14 0.24	549	→	→	→		
伝染性紅斑	10 2.00	1 0.10	12 2.40			15 3.00		39 1.50	77 1.33	2,867	◎→	◎→	◎→	◎	
突発性発しん	3 0.60	2 0.20		1 0.50	3 1.00	4 0.80		16 0.62	29 0.50	1,985	○→	○→	レ→	○	
ヘルパンギーナ	1 0.20	1 0.10				1 0.20		3 0.05	2,445	→	→	→			
インフルエンザ	278 34.75	17 18.47	243 30.38	47 15.67	59 11.80	90 11.25	50 12.50	1,338 31.86	2,382 25.61	33,978	◎→	◎→	◎→	◎	
咽頭結膜熱	1 0.20	6 0.60		2 1.00		1 0.20		14 0.54	24 0.41	780	→	○→	○→	レ	
流行性角結膜炎								3 0.50	10 0.83	187	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	24 2.40	8 1.60	5 2.50	7 2.33	28 5.60		64 2.46	140 2.41	6,136	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎			3 3.00	3 3.00			1 1.00	1 0.20	8 0.67	431	→	→	→		
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	20 4.00	26 2.60	13 2.60	13 6.50	6 2.00	30 6.00		72 2.77	180 3.10	2,045	◎→	◎→	◎→	◎	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	3	2	1	1		4	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病							2	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>						
	不明発疹症							2							
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								2	56						

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女兒は6歳未満
- 2類感染症: 結核
  - 仙南管内 男性1名(第50週)
  - 大崎管内 女性1名(第50週)、男性1名
  - 登米管内 男性1名(第51週)
  - 気仙沼管内 女性1名(第43週)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
  - 塩釜管内 男性1名
  - 腸管出血性大腸菌感染症(O121)
    - 仙台管内 女性1名
- 4類感染症: E型肝炎
  - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
  - 仙台管内 男性1名(第51週)
  - 侵襲性肺炎球菌感染症
    - 石巻管内 男児1名※(第51週)、男性1名(第51週)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 26例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【伝染性紅斑】  
仙南、大崎、石巻管内で警報継続中。
- 【インフルエンザ】  
仙南、大崎、仙台管内で警報値を超えた。  
栗原、登米、石巻、気仙沼管内で注意報値を超えた。  
塩釜管内で注意報継続中。

### 【病原体検出情報】

#### ～保健環境センター～

インフルエンザ集団発生事例より  
栗原管内 第52週採取分 インフルエンザウイルスAH3 3件

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第50週採取分 (12.8～12.14)	第51週採取分 (12.15～12.21)	第52週採取分 (12.22～12.28)
インフルエンザウイルスA(H3)型	5件	11件	0件
バラインフルエンザウイルス1型	2件	1件	0件
バラインフルエンザウイルス4型	0件	2件	0件
RSウイルス	11件	7件	0件
アデノウイルス	1件	1件	0件

### 【インフルエンザ】

仙南、大崎および仙台管内において患者報告数が警報値(1定点当たり30人)を超えたため、本日県は全域に「インフルエンザ警報」を発令しました。今シーズンのインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、AH3(香港)型の検出が多く、インフルエンザによる入院患者報告も多くなっています。また、保健環境センターや仙台医療センターウイルスセンターでもAH3型が検出されていることから、今後の流行に十分注意が必要である。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第49週		12.7	34.4	32.1	2.7	2.0	5.0	1.7	4.7	2.7	1.0	1.0	299
第50週		11.8	33.0	32.6	4.4	2.0	6.7	4.2	2.3	1.5	0.9	0.7	688
第51週		9.1	36.9	32.1	5.0	3.3	4.8	4.1	1.9	1.5	0.9	0.3	1549
第52週		14.3	30.7	25.6	5.2	5.1	6.5	5.1	3.6	1.8	1.3	0.8	2382

### インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第50週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では埼玉県(18.80)、岩手県(15.78)、北海道(14.26)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は172例と前週と比較して増加した。都道府県別では40都道府県から報告があり、年齢別では0歳(11例)、1～9歳(60例)、10代(19例)、20代(1例)、30代(3例)、40代(6例)、50代(5例)、60代(14例)、70代(19例)、80歳以上(34例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は8,180例と第46週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約66%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では北海道(2.94)、新潟県(1.89)、山形県(1.63)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では福岡県(6.48)、北海道(5.26)、鳥取県(5.11)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別では大分県(23.19)、鹿児島県(19.76)、宮崎県(19.08)が多い。**水痘**: 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別では山形県(3.27)、山口県(2.67)、鹿児島県(2.18)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(2.20)、秋田県(1.13)、長野県(1.09)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。14府県から38例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(22例)、5～9歳(6例)、10代(1例)、30代(2例)、40代(2例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数